

これまでのとりくみ

学習の基礎基本を定着させ、子どもたちが主体的に学習する力をつけることをねらいとして、以下のことにとりくんでいる。

- 長南タイムプリント(漢字の書きと算数の復習問題) ○週末学習(サポートタイム)
- 学期の始めと毎週水曜日に読書タイム ○保護者への啓発「チーム新聞」の発行
- 学期終わり(1,2学期)のスキルアップルーム(希望者)
- 単元の学習定着のためのチャレプリ(チャレンジプリント)の実施
- 到達テスト(7・12・2月)の実施〈漢字・計算・文章問題〉分析
- 学期ごとの国・算まとめテストの正答率を分析
- やる気ノート博覧会(自主学習ノートの充実)

全国学力・学習状況調査の結果より

教科の結果より

【国語】

- ・問題を最後まで読みとることができず、解答をあきらめてしまう。
- ・質問の意図がわからないため、キーワードなどを探ることができない。
- ・漢字の定着にも課題がある。同音異義語などの学習が必要。
- ・自分の意見を持ち発表することができていても、記述につながっていない。

【算数】

- ・文章理解ができず、問題や資料の関係性が見えていない。
- ・簡単な問いほど難しく考えている。・複合的な問いが難しい。
- ・学習したことで完結しているので、既習の学習を使えない。
- ・問題のイメージを持てない。生活体験とつながっていない。

児童・生徒質問紙より(上段は良さ・下段は課題を表しています。)

- ・国語・算数ともに好きではないが、大切であることや生活に活かしたいと思っている。
- ・話し合い活動で考えを深めていると感じている。
- ・英語は肯定的に受け止めている。
- ・ICT活用に対して肯定的に考えている。
- ・困っているときは助けたい、いじめはいけないうの回答率が高い。
- ・地域のために何かしたいと考えている。(93%)したくない(0%)。

- ・発表をしていないと回答している児童も多い。(30%)
- ・スマートフォンの所有率の高さ、使用時間などの家庭ルールに課題が見える。
- ・学校外での学習や家で「読む」習慣がほとんどない。
- ・学校へ行くのが楽しいと感じている児童の割合が下がってきている。
- ・朝食を毎日食べている割合も7割強。

これからのとりくみ

これまでのとりくみの結果、学習は大切であること、交流活動を通して学び合う姿などができている。自分の考えを持ち、さらにその考えを広め深めることができるような授業づくりにとりくんでいる。全学調の結果から見えた課題から、以下のようなとりくみを進める。

- ①要約する力を鍛える
- ②記述式の問題に備える
- ③自力解決力をつける
- ④既習の学習を定着させる
- ⑤学校が楽しいと思える学校をつくる